



武田先生と里山を歩こう会



2021・4・2～2022・3・4

武田先生と里山を歩こう会（2021年度年間スケジュール計画）

	行く先 [行事]	集 合	備考
4月 2日（金） [会員総会 含む]	「北山貯水池～甲山森林公園」 北山貯水池B.S～北山貯水池（総 会）～甲山森林公園～阪急仁川駅	J R 西宮駅・北口バスターミナル；10時10分 （阪神バス鷺林寺線－東回り10時17分発乗車 －北山貯水池；10時38分着－220円）	2019年度 実施ルート（半分） 歩行4km,高低差－200m
5月 7日（金）	「神戸市立森林植物園」	神戸電鉄北鈴蘭台駅；9時55分 （無料送迎バス10時05分発乗車）	新規
6月 4日（金）	「丸山湿原」 西谷の森公園口B.S～丸山湿原～西 谷の森公園口B.S	JR武田尾駅；10時25分 （阪急バス上佐曾利行き10時35分発乗車 －西谷の森公園口；10時45分着－340円）	2019年度実施ルート 歩行4～5km （トキノウ期待）
7月	「夏休み」	－	
8月 6日（金）	「剣谷湿原」 奥池B.S～観音山～剣谷湿原～ゴロ ゴロ岳～奥池B.S	J R 芦屋駅南口；9時20分 （阪急バス80番山口営業所前行き9時33分発乗車 －奥池；9時52分着－380円）	2019年度実施ルート 歩行5km,高低差±100m （サギソウには早いかな？）
9月 3日（金）	「押部谷～木津」 （6/5－A案採用の場合） 押部谷駅～天一神社 ～顕宗仁賢神社 （～神戸環境未来館）～木津駅	神戸電鉄押部谷駅；10時00分	新規 歩行7km(10km) 途中神鉄駅へエスケープ可
10月 1日（金）	「中山寺奥の院」 中山観音駅～中山寺～奥の院 ～米谷高原～清荒神～清荒神駅	阪急中山観音駅；9時30分	新規 歩行7km,高低差±300m
11月 5日（金）	「有馬富士公園」 新三田駅～有馬富士公園 ～新三田駅	J R 新三田駅；10時00分	2019年度実施ルート 歩行4km
12月 3日（金）	「摂津峡」 上の口B.S～摂津峡～塚脇B.S	J R 高槻駅北バスのりば；10時05分 （高槻市バス54番上の口行き10時15分発乗 車－上ノ口10時35分着－220円）	新規（紅葉期待） 歩行4km,高低差-70m
1月	「冬休み」	－	
2月 4日（金）	「昆陽池公園」 昆陽池公園	阪急伊丹駅4番バス乗り場；10時10分 （伊丹市バス17番西野武庫川センター行き10時16分 発乗車－昆陽池公園前；10時23分着－210円）	新規 歩行2～3km
3月 4日（金）	「三木山森林公園」 （昼食；和食バイキングレストラ ン－1500円－飲み物別）	神戸電鉄恵比須駅；10時10分 （三木市バス59番三木営業所行き10時16分発乗車 －森林公園；10時24分着－210円）	2019年度実施ルート

[武田先生と里山を歩こう会] 植物観察会実施報告書

作成 2021年4月10日 担当 福田卓男

◎概要

春霞もどきの黄砂の襲来の中でしたが天候に恵まれ、また、道すがら満開になったソメイヨシノのほかヤマザクラ、カスミザクラと桜を満喫しながら西宮甲山周辺を観察しました。なお、今回の観察会では一步間違えると道に迷いそうな里山の鬱蒼とした高木の林の中、芽を出し、開花する多くの低木や多年草を観察することができました。

テーマと行き先	甲山森林公園	
観察行動	西宮北山貯水池 BS～甲山森林公園～上ヶ原浄水場	
実施日・天気	2021年4月2日(金) (晴)	
集合・解散時刻	10:10 JR 西宮	16:00 阪急甲東園
経路詳細	西宮北山貯水池 BS 10:40 →甲山北側山ろく周回(A区)→甲山森林公園(B区) →上ヶ原浄水場 14:30	
参加人数	16人	
その他	会の総会を西宮北山貯水池 BS にて実施	



○タンポポ調査について(武田先生)

- ・1975年より5年ごとに環境指標としてタンポポの分布について調査しています。
- ・調査の結果として、近年、在来種の関西タンポポに対し、外来種の西洋タンポポが増加してきている。しかし、最近の調査では逆に関西タンポポが増加してきています。また、人の異動に伴い関東など他の地方のタンポポや西洋タンポポとの交雑も進んでいてより詳しい調査が必要になってきています。
- ・「タンポポ調査・西日本2020」調査用紙への記入法の説明と、身近なタンポポの採取依頼がありました。
- ・今回の観察したタンポポ

- 西洋タンポポ 北山貯水池
- 関西タンポポ 上ヶ原貯水池(写真1)
- 白花タンポポ 上ヶ原貯水池(写真2)



○桜について

カスミザクラとヤマザクラとは混同しやすく、咲く時期はカスミザクラが1から2週間遅く、葉に毛があるか無いかなど区別に当たって詳しく見る必要がある旨説明がありました。

○スミレ属3種 名前の由来について漢字名をみると分かりやすいとのことでした。

ナガバナタチツボ



シハイスミレ



タチツボスミレ



ハマヒルガオ



○上ヶ原貯水池フェンス沿いに海浜植物のハマヒルガオの群落があり、環境が異なるので今後の生育やほかの海浜植物の出現の可能性など少々興味がありました。

以上

番号	名前 (太字は名札あり)	漢字*	科*	属*	種別*	状態	花色	コメント	状態 △:つばみ ○開花
観察場所 甲山周辺 右経路図A区間									
A1	セイヨウタンポポ	西洋蒲公英	キク科	タンポポ属	多年草	○	黄色	西洋タンポポが在来種を駆逐する勢いがあったが最近では関西タンポポの盛り返しや在来種との交雑もある。なお、この雑種の区別は容易でない。	
A2	アセビ	馬酔木	ツツジ科	アセビ属	常緑低木	○	白花	葉に毒がある。	
A3	ヤブツバキ	藪椿	ツバキ科	ツバキ属	常緑樹	○	赤花		
A4	クロキ	黒木	ハイノキ科	ハイノキ属	常緑小高木	○	白花		
A5	ヤブニッケイ	藪肉桂	クスノキ科	クスノキ属	常緑高木				
A6	ナガバノタチツボ スマレ	長葉立坪菫	スマレ科	スマレ属	常緑 多年生草本	○	青紫	花が咲き始めた頃の葉は丸い円形。茎が伸びると細長くなり三角形からナガ細い形になる。タチツボスマレとの相違点になる。 (W:ナガバタチツボスマレがWでの名称、牧野は「ノ」を入れナガバノタチツボスマレを和名としている)	
A7	スノキ (樹) より)	酔の木	ツツジ科	スノキ属	落葉低木			葉がすっぱい 大きな群落 日が当たるとゼンマイのような新芽が出る。 新しい葉の下に厚い枯れた葉の層があり、油分を含み燃えやすい。	
A8	ウラジロ	裏白	ウラジロ科	ウラジロ属	常緑多年性 シダ植物				
A9	モッコク	木斛	モッコク科	モッコク属	常緑高木				
A10	シハイスミレ	紫背菫	スマレ科	スマレ属	多年草	○	青紫	葉の裏が紫色 (名前の由来)	
A12	イヌガヤ	犬槿	イチイ科	イヌガヤ属	常緑小高木 の針葉樹	○	白色		
A13	クロモジ	黒文字	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木	○	黄色	つまようじの材料	
A14	コバノガマズミ	小葉蒲染	スイカズラ科	ガマズミ属	落葉広葉 低木	△			
A15	コバノミツバ	小葉の三葉薺	ツツジ科	ツツジ属	落葉低木	○	紫色	周辺を伐採されたところでは日当たりがよくなり、繁茂している。	
A16	ミツバアケビ	三葉木通	アケビ科	アケビ属	落葉性 つる性木本	○	赤紫	たべられる	
A17	ショウジバカマ	猩々袴	メランチウム科	ショウジバカマ属	多年草	○	青紫	花の色は白から紫など変化がある。	
A18	クサイチゴ	草苺	バラ科	キイチゴ属	落葉小低木	○	白色	たべられる	
A19	ニガイチゴ	苦苺	バラ科	キイチゴ属	落葉低木	○	白色	種が苦い	
A20	シャシャンボ	小小坊	ツツジ科	スノキ属	常緑小高木			葉がギザギザ	
A21	ヒサガキ	椋	モッコク科	ヒサカキ属	常緑小高木				
A22	サルトリイバラ	猿捕茨	サルトリイバラ科 (またはユリ科)	シオデ属	多年生植物 (半低木)	○	黄色	おしべがなく、雌雄異株	
A23	ヤマザクラ	山桜	バラ科	サクラ属	落葉高木	○	白色	葉と花は同時に出る	
A24	リョウブ	令法	リョウブ科	リョウブ属	落葉小高木	○	白色		
観察場所 甲山森林公園 上経路図B区間									
B1	カンサイスノキ	関西酔の木	ツツジ科	スノキ属	落葉低木			葉裏に毛あり (科、属は葉と「枝による樹木検索図鑑」より)	
B2	カスミザクラ	霞桜	バラ科	サクラ属	落葉高木	○	白色	葉柄に毛がある。ヤマザクラに比べ少し白い、ヤマザクラより1~2週間遅れて咲くので雑種化していない。	
B3	マルバアオダモ	丸葉青櫛	モクセイ科	トネリコ属	落葉高木				
B4	シナレンギョウ (樹)	支那連翹	モクセイ科	レンギョウ属	落葉低木	○	黄色		
B5	ホルト		ホルトノキ科	ホルトノキ属	常緑高木			葉が赤くなる特徴を持つ	
B6	アオダモ	青櫛	モクセイ科	トネリコ属	落葉広葉樹			樹皮が湿ると緑になる	
B7	アオハダ	青膚	モチノキ科	モチノキ属	落葉高木			樹皮をめくると緑色をしている。 伸びた枝の付け根に花をつける。	
B8	モチツツジ	獺躑躅	ツツジ科	ツツジ属	落葉 (半落葉) 低木	△	桃色		
B9	タチツボスマレ	立坪菫	スマレ科	スマレ属	多年草	○	青紫		
B10	ニガキ	苦木	ニガキ科	ニガキ属	落葉高木			苦い	
B11	クスノキ	樟、楠	クスノキ科	ニッケイ属	常緑高木			新しい葉が出るとき、古い葉を落とす。	
B12	関西タンポポ	関西蒲公英	キク科	タンポポ属	多年生植物	○	黄色		
B14	ハマヒルガオ	浜屋顔	ヒルガオ科	ヒルガオ属	多年草			海浜植物、須磨海浜公園で群生しているのを観察。	
B15	白花タンポポ	白花蒲公英	キク科	タンポポ属	多年生植物	○	白色		



1	アケビ	アケビ科	アケビ属	落葉つる性木本 東アジア原産 雌雄同株で雌雄異花 果実(長楕円形10cm) 蔓・葉・根・果実は生薬に
2	エノキ(写真①)	アサ科	エノキ属	落葉高木 雌雄同株 オオムラサキ・ゴマダラチョウ・テングチョウなど多くの昆虫の食樹 御神木として多くの神社に 一里塚
3	ミツバアケビ	アケビ科	アケビ属	落葉つる性木本 在来種 雌雄同株で雌雄異花 葉(3出複葉 互生) 花(濃紫色 花弁なし) アケビは小葉5枚で花は淡紫色 果実食用
4	イヌガヤ	イチイ科	イヌガヤ属	常緑小高木 在来種 雌雄異株 葉(カヤより光沢なし先端を触っても痛くない 2本の気孔帯) 実(食用にならない)
5	タカノツメ	ウコギ科	タカノツメ属	落葉高木 日本特産種 雌雄異株 葉(枝先に集中3出複葉 葉柄長い) 冬芽が鷹の爪を連想させることからの名 山菜 黄葉きれい
6	ウラジロ	ウラジロ科	ウラジロ属	シダ植物 お正月のお飾りに使用 大きな群落 葉に生長点がある点で維管束植物の古い形態を残す 弱った群落が山火事に
7	コシダ	ウラジロ科	コシダ属	常緑多年生シダ植物 大群落を作る ウラジロに似るが小型 葉(葉柄の先端から二叉分枝を繰り返す)
8	アカミタンポポ	キク科	タンポポ属	多年草 5~30cm ヨーロッパ原産 総苞片が反り返る そう異(赤褐色) 単為生殖 乾燥に強い セイヨウタンポポより小型
9	カンサイタンポポ	キク科	タンポポ属	多年草 10~30cm 在来種 セイヨウタンポポより頭花小型 総苞片が反り返らない 春のみ開花 2倍体
10	カントウタンポポ	キク科	タンポポ属	多年草 10~30cm 在来種 総苞片が反り返らない 春のみ開花 2倍体で自家受粉できない
11	シロバナタンポポ	キク科	タンポポ属	多年草 10~40cm在来種 カンサイタンポポより大型 5倍体で単為生殖が可能 総苞片がやや反り返る
12	セイヨウタンポポ	キク科	タンポポ属	多年草 15~45cm ヨーロッパ原産 環境省指定要注意外来生物 総苞片が反り返る 3倍体で単為生殖で種子をつける 春以外も開花
13	ニガナ	キク科	ニガナ属	多年草 草丈20~50cm 在来種 葉や茎を傷つけると乳液が出る 花(黄色の舌状花5~7個だけからなる) 茎葉が茎を抱く
14	ツルニチソウ	キョウチクトウ科	ツルニチソウ属	常緑つる性植物 南ヨーロッパ原産 花(青紫色・白色) 柱頭(円盤状でその上に毛のある突起物がある) アルカイドを含む
15	クロモジ	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 雌雄異株 在来種 花(黄色の花弁が薄く半透明) 葉(枝先に付ける 葉柄赤味を帯びる) 実(黒色) 油・生薬・爪楊枝
16	ヤブニッケイ	クスノキ科	ニッケイ属	常緑高木 雌雄異株 ニッケイに比べて香りが劣る 葉(革質 三行脈裏の成分は銅) 花(5~13個淡黄色の両性花) 果実(黒紫色)
17	サルトリイバラ	サルトリイバラ科	シオデ属	つる性低灌木 雌雄異株 葉(餅・段頭を包むのに使う) 茎(棘・ヒゲ根あり 節ごとにジグザグに折れる) 実(赤色)
18	ヤブムラサキ	シソ科	ムラシキシキブ属	落葉低木 雌雄同株 葉・花序・葉柄・新枝(ピロードのような星状毛) 花や実(葉の陰に隠れて下向きに付く) ムラシキシキブは無毛
19	ショウジョウバカマ(写真⑥)	シュロソウ科	ショウジョウバカマ属	多年草 草丈20~30cm 湿ったところに自生 和名狸々袴 花(淡紅紫色まれに白色 横向きに付ける) 花茎(果期に50~60cmに)
20	シハイスミレ(写真⑤)	スミレ科	スミレ属	多年草 在来種 草丈5~8cm 和名紫背莖(葉裏が紫色を帯びるので) 花(1.5cm淡紅色~濃紅紫色)
21	タチツボスミレ(写真⑦)	スミレ科	スミレ属	多年草 草丈5~20cm 在来種 ハート形葉と花が終わると立ち上がる茎が特徴 花(薄い紫色) 托葉(肺の嚢状に深く裂ける)
22	ナガバナタチツボスミレ(写真⑧)	スミレ科	スミレ属	多年草 在来種 草丈10~20cm 根生葉(円心形 裏紫色) 茎葉(細ながい三角状楕円形 花後さらに葉が細長くなる) 花(紫色)
23	カンサイスノキ	ツツジ科	スノキ属	落葉低木 日本固有種 葉(暗むと酸っぱい 葉柄と裏の主脈上に曲がった毛が密生) 花(緑白色または紅色 1~4個下向きに付ける)
24	スノキ	ツツジ科	スノキ属	落葉低木 日本固有種 和名コウメ(果実や葉に酸味があるので) 花(赤い筋のある緑白色で鐘型下向きに) 紅葉が美しい
25	シャシャンボ	ツツジ科	スノキ属	常緑小高木 高さ1~5m 在来種 葉(革質で光沢あり 葉裏の主脈上に小さな突起あり) 花(白色つぼ型 下向きに多数つける)
26	コバナミツバツツジ(写真④)	ツツジ科	ツツジ属	落葉低木 高さ(1.5~4m) 日本固有種 葉(枝先に菱形3個輪生) 花(3~5月に開花 薄紫色 10本の雄蕊) 西宮の廣田神社が有名
27	ヤマツバキ(写真⑩)	ツバキ科	ツバキ属	常緑高木 日本固有種 太平洋側に分布 葉(革質で厚い 互生) 頭果(褐緑色に熟すと3裂する) 花(雄蕊が合着 花ごと落ちる)
28	クロキ(写真③)	ハイノキ科	ハイノキ属	常緑小高木 日本固有種 花(春に白色の花を開花が基本 株によっては秋にも紫色の花を開花) 葉(革質 モチノキに似る) 甲山のみ生育
29	カマツカ	バラ科	カマカツ属	落葉小高木 材を鎌の柄に用いたことからの名 別名ウシゴロン 花(5弁花で5~20個まとまって枝先に) 実(赤色 食用)
30	クサイチゴ(写真②)	バラ科	キイチゴ属	落葉小低木 高さ20~60cm 別名ワセイチゴ 花(5弁花 白色) 果実(5・6月に透き通った粒で赤く熟す) 葉・茎に腺毛と棘あり
31	ニガイチゴ	バラ科	キイチゴ属	落葉低木 日本固有種 高さ50~100cm 別名ゴガツイチゴ 実が甘いことからの名 花(白色5弁花 花弁の間の隙間目立つ)
32	ザイフリボク	バラ科	ザイフリボク属	落葉小高木 別名シデザクラ 葉と花同時に展開 花(細長い5枚の白い花弁) 葉(小さな鋸歯 緑が赤味を帯びる)
33	カスミザクラ	バラ科	サクラ属	落葉高木 速くから見た様子が霞のように見えることからの名 ヤマザクラより上に生える 花(白色)と新緑(緑色)が共に展開 葉柄に毛あり
34	ヤマザクラ(写真⑩)	バラ科	サクラ属	落葉高木 日本固有種 野生種 花(白色)と新緑(基本赤色)が共に展開 サクラゴ(1cm 黒紫色) 平安時代以降花見の対象に
35	モッコク	バラ科	シャリンバイ属	常緑低木 和名車輪梅 自生は暖地の海岸近く多い 花(白~ピンク色5弁花が円錐状に) 樹皮(奄美大島の大島綿の染料なる)
36	ハマヒルガオ	ヒルガオ科	ヒルガオ属	多年草 草丈10~20cm 典型的な海浜植物 花(淡紅色 漏斗型) 葉(質厚く艶あり 水分の蒸発や塩分から守るため)

37	クロキ(写真③)	ハイノキ科	ハイノキ属	常緑小高木 春に開花(白・薄緑色)するのが基本だが、株によっては秋に色違いの花(紫色)を咲かせる 葉(革質 上半分に鋸歯)
38	ホルトノキ	ホルトノキ科	ホルトノキ属	常緑高木 雌雄同株 葉(1年中古い葉は落ちる前に紅葉する) 平賀源内が間違っって紹介したことからの名「ポルトガルの木」
39	ニセアカシヤ	マメ科	ハリエンジュ属	落葉高木 北米原産 花(5~6月フジのように白色・薄紅色の小花を沢山つける) 葉の付け根に棘あり 種がさやえんどうに似る
40	マルバアオダモ(写真④)	モクセイ科	トネリコ属	落葉高木 雌雄異株 雌株は両性花をつけるが自家不和合性 葉(奇数羽状複葉 対生) 花(白く4全裂 円錐花序) 翼果2つでなく1つ
41	カラスザンショウ	ミカン科	サンショウ属	落葉高木 雌雄異株 先駆植物 葉(大型の奇数羽状複葉) サンショウと違ってアルカイドを含む アゲハチョウ科の食草
42	シナレンギョウ	モクセイ科	レンギョウ属	落葉低木 雌雄異株 中国原産 葉と花(黄金色)同時に展開 幹(緑黄褐色 丸い皮目) 枝(4稜 直立) 雄蕊が短く雌蕊が長い
43	チョウセンレンギョウ	モクセイ科	レンギョウ属	落葉低木 雌雄異株 朝鮮半島原産 葉より先に花が開く 枝(弓なりに長く伸びる) 花(黄金色 花弁の切れ込みが深い) 雄蕊長く雌蕊短い
44	ヒサカキ	モッコク科	ヒサカキ属	常緑小高木 原産地中国 サカキと同様に緑起の良い木とされる 防火性・耐潮性あり 花(プロパンガスのような匂い)
45	ヒメユズリハ	ユズリハ科	ユズリハ属	常緑高木 雌雄異株 海岸付近に多い(トラベ・ウメバガシ) 樹皮・枝葉に有毒成分(アルカイド)有り 葉(モチノキに近い印象)
46	リョウブ	リョウブ科	リョウブ属	落葉高木 肌理に備えて貯蔵と採集を令法(りょうぼう)で命じられたことからの名 別名ハタツモリ(花の景観を百万の旗と見立てた)
47	コバノガマズミ	レンブクソウ科	ガマズミ属	落葉低木 在来種 葉(ピロードのような星状毛 葉柄ごく短い) 花(白い集合花 シベが飛び出る) 実(赤色 薬用)

鳥類

1	ホウジロ	ホオジロ科	ホオジロ属	留鳥 全長16.5cm 全体は赤味のある褐色 背に黒色の縦斑 シジウカラの頬が大きくて白いので間違えないように
---	------	-------	-------	---



① エノキ



② クサイチゴ



③ クロキ



④ コバノミツバツツジ



⑤ シハイスミレ



⑥ ショウジョウバカマ



⑦ タチツボスミレ



⑧ ナガバノタチツボスミレ



⑨ マルバアイダモ



⑩ ヤマザクラ



⑪ ヤマトバキ



「武田先生と里山を歩こう会」活動報告書

報告者 梶谷孝司

活動日 2021年10月8日(金)

活動場所 中山観音駅→中山寺→奥の院→陸上自衛隊長尾山演習場→すみれが丘中央→宝塚駅

参加者 10名

参考記録 活動時間 約5時間(9:30から14:30) 歩行数 約10000歩 標高差 約300m

天候 晴天 最高温度 30℃

活動概要

緊急事態解除後、6か月ぶりに活動再開。暦では寒露になるが真夏を沸騰させるような気温30℃になる厳しい残暑の中の植物観察であった。中山寺を参拝後、奥の院を目指して道程の草木を観察しながら進む。厳しい残暑であるが森に入ると道端には堅実(どんぐり)が多数落下しており秋の深まりを感じさせられる。「秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七種の花」に歌われた秋の七草は残念ながらすべては見られなかった。環境の変化により今後も七種を見られるのは無理かも。しかし多くの植物を観察説明を受け有意義な活動であった。



中山寺



奥ノ院



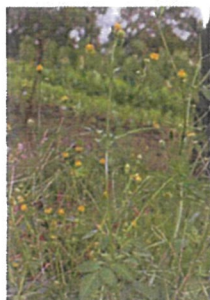
ウメモドキ①



ウラジロ②



クサギ③



コセンダングサ④



ノギラン⑤



メナモミ⑥



ヤブムラサキ⑦

2021・10・8 中山寺奥ノ院 観察植物一覧表

1	ササクサ	イネ科	ササクサ属	多年生 単子植物 在来種 高さ40-90cm 花期8-9月黄緑色-白色等の。名は笹に似た葉をもつことに由来。種子は質の悪いひっつき虫。
2	コシアブラ	ウコギ科	コシアブラ属	落葉高木 在来種 高さ7-20m 花期8-9月黄緑色の花。果実は黒色。低温帯林生育。木工材料、新芽は食用。放射性物質を蓄積し易い。
3	ウラジロ 写真②	ウラジロ科	ウラジロ属	常緑多年生 在来種 葉の表面は光沢で裏は白色。正月の飾りに利用。
4	コシダ	ウラジロ科	コシダ属	常緑多年生シダ植物 在来種 毎年地下茎から葉柄を伸ばし葉を展開 表面は黄緑色で光沢で裏側は灰白色。枯葉が堆積し山火事の原因。
5	ベニシダ	オシダ科	オシダ属	常緑性シダ植物 若葉・若芽が赤色 日当たりの良い森林内に生育。
6	ササノハスゲ	カヤツリグサ科	スゲ属	常緑多年生 日本固有種 花期4-5月花茎20-40cm小穂がつく。冬でも葉は枯れない。山地の樹林や林縁に生える。
7	ナキリスゲ	カヤツリグサ科	スゲ属	常緑多年 単子植物生 在来種 高さ50cm 花期9-10月雌雄で雌花はやや黄褐色。非常に生育範囲が広い種でいろいろな変種が見れる。
8	イヌノハナヒゲ	カヤツリグサ科	ミカヅキグサ属	多年草 在来種 高さ30-100cm 花期7-10月湿地に生える。
9	アキノノゲシ	キク科	アキノノゲシ属	1-2年生 在来種 花期8-10月淡黄色の花 果実はタンポポの綿毛を小さく。名は春に咲くノゲシに似ていることから。
10	ヤクシソウ	キク科	オニタビラコ属	2年草 在来種 先駆植物 高さ30-120cm 花期9-11月枝先の上に黄色の頭花を散房状につける。茎・葉を折ると苦味の白乳液。
11	コウヤボウキ	キク科	コウヤボウキ属	落葉低木 在来種 高さ60-100cm 花期9-10月花は1年目の茎に咲く。名の由来は高野山で茎を束ねて箒の材料としたことによる。
12	アメリカセンダングサ	キク科	センダングサ属	一年草 外来種 花期9-10月頭花は黄色 茎は暗紫色で4角形 そう果の先には2本の棘があり衣服に刺さる。ひっつき虫。
13	コセンダングサ 写真④	キク科	センダングサ属	一年草 外来種 高さ50-100cm 花期9-11月頭花は黄色。茎は四角形状。根には強力なアレロパシー作用(アレロケミカル)。ひっつき虫。
14	メナモミ 写真⑥	キク科	メナモミ属	一年草 在来種 高さ60-120cm 花期9-10月茎の上部に円錐花序に多数の黄色の頭花。果実は偽果。
15	ヒヨドリバナ	キク科	ヒヨドリバナ属	多年生 在来種 高さ1-2m 花期8-10月頭花は白色。日当たりの良い場所に生育。ヒヨドリの鳴く頃に花が咲くことが名の由来。
16	ノギラン 写真⑤	キンコウ科	ノギラン属	多年 在来種 高さ25-50cm 花期9-10月花は黄緑色で上向きに咲く。果実は蒴果。葉は根性しロゼット状になる。
17	ヒメジソ	シソ科	イヌコウジ属	一年草 在来種 高さ20-60cm 花期9-10月花は淡紅紫色。果実は4分果。茎は四角。日当たりの良い水田畦・湿地・湿った草地。
18	クサギ 写真③	シソ科	クサギ属	落葉低高木 在来種 高さ4-8m 花期8月花弁は白、ガクは緑色から赤くなる。葉に悪臭がある。ハゲハチョウ科の大型チョウが訪花。
19	ヤブムラサキ 写真⑦	シソ科	ムラサキシキブ属	落葉低木 高さ2-3m 花期6-7月薄紫色の小さな花。果実は球状の液果。秋に紫色に熟する。金属化指示植物。
20	ガンピ	ジンチョウゲ科	ガンピ属	落葉低木 在来種 高さ1-3m 花期5-6月花は黄色。和紙の原料で繊維は優美で光沢がある。別名カミノキ 西宮の名産和紙が有名。
21	コバノガマズミ	スカイカズラ科	ガマズミ属	落葉低木 日本固有種 雌雄同 両性化 高さ4 花期7-5月散房花序をだし白い花を多数。果実は核果で暗紫色で熟すと甘い。
22	ツクバネウツギ	スカイカズラ科	ツクバネウツギ属	落葉低木 在来種 高さ2m 花期5-6月鐘状朗蹄形で白色・黄白色の花。果期は9-11月で線形の瘦果。果実はプロペラ状の萼片。
23	ミツバウツギ	スカカズラ科	ミツバウツギ属	落葉低木 高さ3-4m 花期5-6月枝先に円錐花序の白い花。果実は偽果で赤く熟す。若葉は山菜として食用。
24	センダン	センダン科	センダン属	落葉高木 ヒマラヤ原産 高さ5-20m 花期5-6月淡紫色の花。果実は黄褐色に熟す。樹皮は虫下し葉は虫除け等の薬用植物。
25	イヌタデ	タデ科	イヌタデ属	一年草 在来種 花期6-11月花序は長さ1.5-5cmで紅色の小さな花を多数つける。果実を赤飯に見立ててアカノマンマンと呼ばれている。
26	ミズヒキ	タデ科	イヌタデ属	多年草 在来種 高さ30-80cm 花期8-11月花は繸状花序で小花の上半部は赤色、下半分は白色。名は水引の紅白に由来する。
27	イタドリ	タデ科	ソバカズラ属	多年草 在来種 花期7-10月花は細かい白色、若芽は食用になる。世界侵略的外来種ワースト100の選定種の1つ。
28	ナツハゼ	ツツジ科	スノキ属	落葉低木 中国原産 高さ1.5-3m 花期5-6月新枝に黄緑色の花。果実は液果で黒色。生食やジャム・果実酒の加工品に利用。
29	コバノミツバツツジ	ツツジ科	ツツジ属	落葉低木 在来種 高さ3m 花期3-4月紅紫色-淡紫色の花茎端から3枚の葉を出す。果実はさく果で8-9月に熟し裂開。
30	アラカシ	ブナ科	コナラ属	常緑広葉樹 在来 雌雄同 花期4-5月 果実(ドングリ)はその年に熟す。雑木林、公園に多く見られる。
31	ウラジロノキ	バラ科	アズキナン属	落葉高 在来種 高さ10-15m 花期5-6月花は白色。果実は橙色に熟す。葉の裏が白いで「裏白の木」という。材は器具材・薪材に利用。
32	ミヤコイバラ	バラ科	バラ属	落葉低木 高さ50-100cm 花期6-7月枝先に円錐花序の白い花。果実は偽果で赤く熟する。枝は直立で大きな棘がある。
33	シキミ	マツブサ科	シキミ属	常緑性小高木 有毒植物 在来種 高さ2-10m 花期3-5月黄白色の花。果実は裂けて種子を飛ばす。種子果実は特に危険で劇物に指定。
34	アレチノヌスビトハギ	マメ科	ヌスビトハギ属	一年 外来種 花期7-10月果実は5-6個の小節果。ひっつき虫。

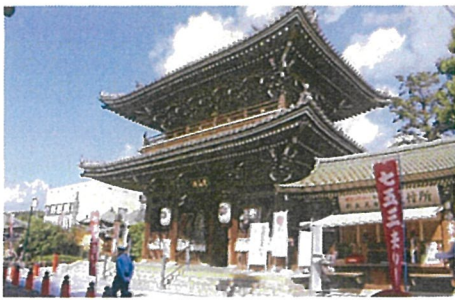
35	ヌスビトハギ	マメ科	ヌスビトハギ属	多年生 在来種 高さ0.6-1m 花期7-9月ピンク色の花。果実は種子1個を含む節果で二節表面に細かい鉤が有り。ひっつき虫。
36	ヤブハギ	マメ科	ヌスビトハギ属	多年生 在来種 高さ60-100cm 花期8-9月総状花序に淡紅色の花。節果には小節果が二個付く。ひっつき虫。
37	ツクシハギ	マメ科	ハギ属	落葉低木 日本固有種 高さ2-4m 花期7-10月全体に白ぼく翼弁が紅紫色で目立つ。路傍・林縁・伐採跡地に広く分布。
38	カラスザンショウ	ミカン科	サンショウ属	落葉樹 在来種 先駆植物 高さ15m 花期7-8月淡紫色の花。果実は赤い。葉の長さ80cm 葉に油点が有り特有の香り(アルカロイド)。
39	マルバアオダモ	モクセイ科	トネリコ属	落葉高木 雌雄異株 高さ5-15m 花期4-5月新枝に円錐花房に白色の4弁花が咲く。果実は翼果。日当たりの良い平地から山地まで生育。
40	ハウノキ	モクセイ科	モクレン属	落葉高木 在来種 高さ30m 花期6月大型の白い花。果実は袋果。葉は日本の広葉樹では最大。強い多感作用(アレロパシー)を示し樹冠下では下草が少ない。葉には殺菌作用があり食材の包み等利用。
41	イヌツゲ	モチノキ科	モチノキ属	常緑小高木 在来種 雌雄異株 高さ2-15m 花期6-7月葉腋に白い花 果実は黒く熟する。生垣、庭木に又、鳥賊カゴ魚に利用。
42	ウメドモキ 写真①	モチノキ科	モチノキ属	落葉低木 在来種 高さ2-3m 雌雄異株 花期5-7淡紫色の花 果実は赤く落葉後でも残る。名は梅に似ていることから。
43	オオバノトンボソウ	ラン科	ウレサギソウ属	多年草 在来種 高さ25-60cm 花期6-7月花は黄緑色。温暖帯の日当たりの良い低山丘陵の疎林内に生える。トンボソウに似て葉が大きい。

追加分

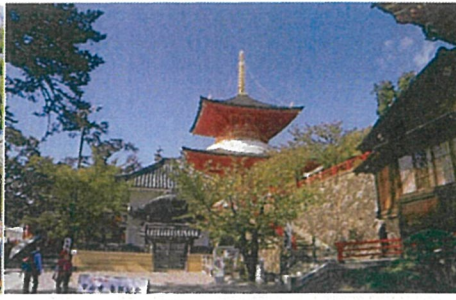
1	ススキ	イネ科	ススキ属	多年生草本 高さ1~2m 別名尾花・茅 葉(ケイ酸を多く含み緑は鋭い鉤状) 株立ち 神の依代(よりしろ)とされる
2	チヂミザサ	イネ科	チヂミザサ属	多年草 草丈30~50cm 葉の形がササに似ていてやや縮んだような皺があることからの名 引っつき虫(芒から粘液が出る)
3	ノガリヤス	イネ科	ノガリヤス属	多年草 草丈60~150cm 群生 初秋に開花 花穂(円錐状で直立 1小花からなる小穂を多数つける) 葉(逆に折れ曲がって伸びる)
4	コバノガマズミ	ガマズミ科	ガマズミ属	落葉低木 雌雄同株 葉(小型 葉柄がごく短い 両面に星状毛が密生) 花(4~5月に白い花 雄蕊が飛び出す) 果実(秋に赤く熟す)
5	キガンピ	ジンチョウゲ科	ガンピ属	落葉低木 樹高1~2m 雌雄同株 葉(対生) 花(本年枝の先に黄白色の花を数個付ける 萼筒約7mm 先は4裂)
6	コツクバネウツギ	スイカズラ科	ツクバネウツギ属	落葉低木 日本固有種 ツクバネになる萼の数が2個 葉(対生) 花(ラッパ状白・黄白色 下側の内面にオレンジ色の模様)
7	ハナゾノツクバネウツギ	スイカズラ科	ツクバネウツギ属	別名ハナツクバネウツギ・アベリア 中国原産のシナツクバネウツギとユニフローラの交配種 花(白色 網状紋無し) 萼5枚
8	モチツツジ	ツツジ科	ツツジ属	落葉低木 高さ1~2m 日本固有種 静岡から岡山の本州と四国に分布 毛(葉・茎・花の付け根・萼・子房・果実に 虫の攻撃から身を守る)
9	クロバイ	ハイノキ科	ハイノキ属	常緑小高木 木の灰は媒染料、葉の煎汁を染料に使用 葉(互生 長楕円形 革質 淺鋸歯 黒っぽくヒサカキに似る)
10	カマカツ	バラ科	カマカツ属	落葉小高木 鎌の柄や牛の鼻輪にしたことからの名 別名ウシゴロシ 材(強靱で弾力に富む) 花(径1cmの白い5弁花が小枝に集まって咲く)
11	クリ	ブナ科	クリ属	落葉高木 雌雄同株で雌雄異花 虫媒花 食料として古くから重用された 葉(長楕円形) 種子(ふつう3個 食用) 樹皮(染料)
12	アベマキ	ブナ科	コナラ属	落葉高木 葉(鋭い鋸歯 裏面毛が多く白っぽく見える) 樹皮(コルク層が発達) ドングリ(直径2cm 2年で成長)
13	イチイガシ	ブナ科	コナラ属	常緑高木 雌雄同株 葉(革質 上半分に鋸歯あり 裏面黄褐色の毛が密生) ドングリ(直径2cm 楕円形 1年で成長 生食可)
14	コジイ	ブナ科	シイ属	常緑高木 別名ツブラジイ 雌雄同株 葉(長さ8cm程 革質 裏面スダジイと同様黄色) ドングリ(スダジイより小さい 生食可)
15	スダジイ	ブナ科	シイ属	常緑広葉樹 ブロッコリー状の樹形 葉(表面光沢あり 裏側毛があり黄色く見える) ドングリ(2年で成長 生食可)
16	マテバシイ	ブナ科	マテバシイ属	常緑高木 別名マテバガシ 雌雄同株 葉(革質 全縁 裏面灰緑褐色) ドングリ(長さ2~3cmの長楕円形 2年で成長 生食可)
17	タムシバ	モクレン科	モクレン属	落葉小高木 別名ニオイコブシ コブシと似るが花の下に葉がなく、葉はコブシより薄く白っぽい 雪の多い所で多い
18	イイギリ	ヤナギ科	イイギリ属	落葉高木 雌雄異株 昔葉(20cmを超える)で飯を包んで食べたことからの名 果実(直径1cm程ナンテンに似る)
19	ヤマモモ	ヤマモモ科	ヤマモモ属	常緑高木 雌雄異株 葉(密に互生 枝先に束生 革質) 果実(暗紅紫色 生食加工とも利用)
20	セトウチホトトギス	ユリ科	ホトトギス属	多年草 草丈20~50cm 茎や葉に毛が多い やや湿った場所に生育 花(花被片と花柱に紅紫色の斑点 中心部が黄色 雄蕊の花糸も斑あり)
21	リョウブ (写真③)	リョウブ科	リョウブ属	落葉高木 樹皮(サルスベリのように剥離) 葉(互生 枝先にまとまる 若葉を食用に) 花(白色 総状花序) 果実(開花と同じように穂状)
22	アケボノソウ (写真④)	リンドウ科	センブリ属	2年草 草丈50~90cm 花冠の斑点を夜明けの星空に見立てた名 茎(4稜) 花(黄白色 上半に濃緑の細点で中央部黄色円形の2腺体)

昆虫綱

1	ホタルガ	マダラガ科	Pidorus	大きさ45~60mm 頭部(赤色) 網と翅(黒色、前翅の先端に白い帯) 幼虫(毛に毒あり 食草はサカキ・ヒサカキ)
---	------	-------	---------	---



① 中山寺



② 中山寺



③ リョウブ



④ アケボノソウ



⑤ ヤクシソウ



⑥ ヒヨドリバナ



⑦ ウラジロノキ



⑧ ヌスビトハギ



⑨ ツクバネウツギ



⑩ もうすぐ奥の院 ひと休憩



⑪ 奥の院



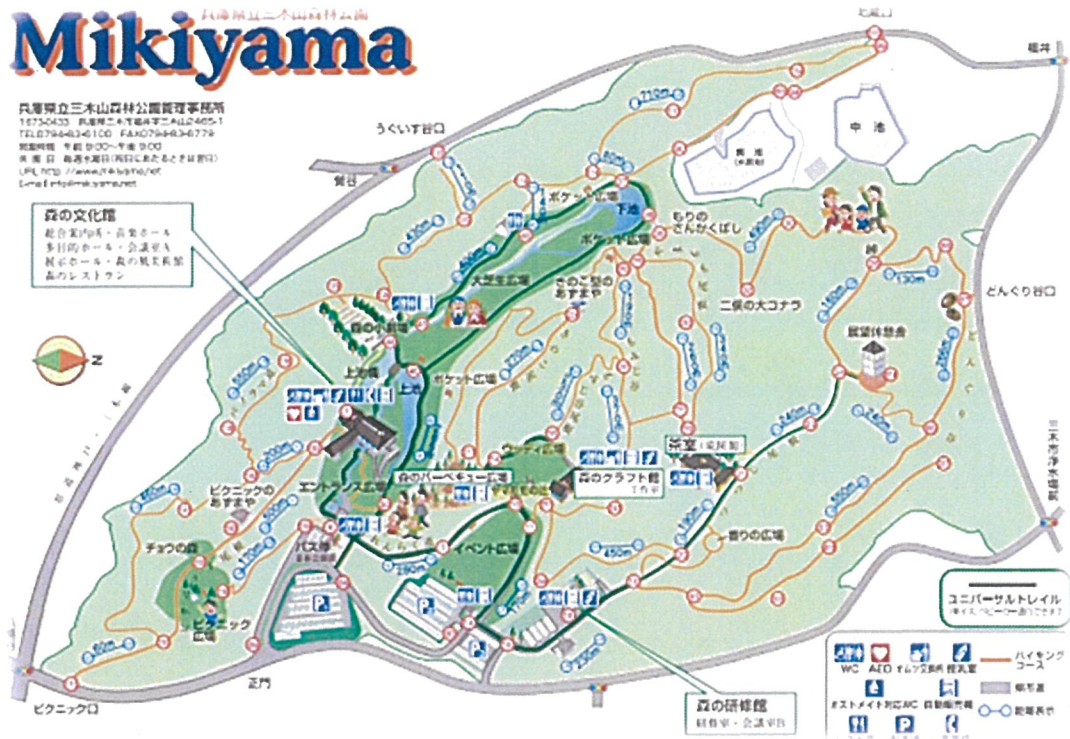
⑫ 帰り道、自衛隊の演習に遭遇

2021/11/05 (金) 兵庫県立三木山森林公園「活動報告書」

作成担当：越間峰俊 (2021/11/16)

サークル名:兵庫学習センター「武田義明先生と里山を歩こう会」

- 1 実施日:2021(令和3)年11月5日(金)、天候:晴れ(小春日和・微風)
- 2 目的地:兵庫県立三木山森林公園(1993(平成5年)5月23日、本格開園)
<https://mikiyama.net/>
- 3 集合・解散:神戸電鉄・恵比須駅前バス10時発、10時10分、森林公園バス停～
昼食:旬菜レストラン「Delpapa」でバイキング～解散:16時44分
- 4 参加者:12名(武田先生+大野先生+山内さんの友人を含む)
- 5 公園全体マップ <https://mikiyama.net/file/download/map/map.pdf>



6 観察活動の概要(森林環境・生物多様性の学習)

詳細は、添付資料①「鳥の鳴き声」、②「活動状況」を参照してください。(撮影写真が不足しており、「歯抜け」になっていますので、埋めてもらえたら幸いです。)

10:00 恵比須駅からバスで発車(8名)

10:12 森林公園下車、他の会員4名と合流し合計12名

10:30 「森の文化館」(メイン・ホール)で職員から資料をいただき、概要説明

10:40～12:00 エントランス広場・上池と大芝生広場・西側の小川沿いを観察

12:00～13:15 レストランでバイキング(¥1,550円、70歳以上は1割引き)

13:15(昼食後、1名が体調を勘案し帰路へ)～午後の部開始、大芝生広場・東側沿い
を下池まで下りながら観察(13:50、2名が体調を勘案し帰路へ)～「もりのさん
かくばし」

14:45～15:15 茶室(成閣、つつじ尾根)で休憩

15:15 森林公園バス停へ到着・休憩、解散

15:44 バスで神戸電鉄・恵比須駅へ発車

16:00 恵比須駅へ到着

7 公園からの資料「みどころ」 <https://mikiyama.net/file/midokoro.html>

カルガモのアクション(カモ科)
バンと共に三木山の常連です。

オシドリの子(カモ科)
三木山では珍しいオシドリの雛が
池に孵りました。

ハクセキレイが糞物をグット!
(セキレイ科)
糞物をグットして嬉しそうにしています。

キンモクセイの二度咲き(モクセイ科)
三木山では昔年の頃に1度咲きました。今回は
2度目の開花です。毎年2度咲きしています。

**シユウメイク
(キンボウグ科)**
菊の仲間ではなく、キンボウグ
科アネモネ属の
植物です。

**ヒガンバナ
科ネギ属の
多年草で、
キタキチヨ
ウが3羽も
公園に来て
いました。**

ヤマラッキョウ(ヒガンバナ科)

**サクラの
花は送
(バラ科)**
数は少ないです
が、サクラが時
期外れの咲きに
なっていました。

サネカスラの実(マツバ科)

ヤマラッキョウの実(サクラソウ科)
電球の小さくて美しい実が
目立ちます。

ドウダンツツジの紅葉(ツツジ科)
紅葉の最盛期を迎えています。

モミジバフウの紅葉(フウ科)
イベント広場のモミジバフウの
紅葉が最盛期を迎えています。

クリノキの紅葉(モクレン科)
路旁が進んでいます。

**三木山森林公園 観察
みどころ Mikiyama 令和3年11月上旬**

かき一筆書きの「みどころ」を
PDFで掲載しています

過去の「みどころ」はHPの
2ページ目以降にあります

ヤマラッキョウが
見られます

ヤブコウジの実が
見られます

フネカスラの実が見られます

シユウメイクが咲いています

ツツジが咲いています

モミジバフウの葉が紅葉しています

ドウダンツツジが紅葉しています

キンモクセイが二度咲きしています

サクツギ
咲いています

ドウダンツツジ
咲いています

ユリノキが咲
いています

キンモクセイが二度咲きしています

8 次回の予定

12/3(金)、「摂津峡」上の口B.S～摂津峡～塚脇B.S、JR高槻駅北バス乗り場：10時
05分(高槻市バス54番、上の口行き10時15分発～上ノ口10時35分着=¥220円)

<https://transfer.navitime.biz/takatsuki/pc/diagram/BusDiagram?orvCode=00150029&course=0003700035&stopNo=1#>



スマートフォン・携
帯電話から時刻表を
確認できます

鳥の鳴き声

名称	科	特徴、URLなど	ネットからの画像	会員の画像
1 ハクセキレイ (白鶉鳩/鳥)	スズメ目 セキレイ科	<p>体長21cmほどで、ムクドリよりやや小さめで細身。他のタイリクハクセキレイ亜種より大型。ロシア沿海地方・ハバロフスク地方の沿岸部、カムチャツカ半島、千島列島、樺太、日本列島（北海道、本州）および中国東北部に分布する留鳥または漂鳥。冬場の積雪地でも観察される。日本では、かつては北海道や東北地方など北部でのみ繁殖が観察されていたが、20世紀後半より繁殖地を関東・中部などへと拡げ、現在は東日本では普通種になっている。</p> <p>https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8F%E3%82%AF%E3%82%BB%E3%82%AD%E3%83%AC%E3%82%A4 また、西日本ではタイリクハクセキレイに容姿が似るホオジロハクセキレイ（学名 <i>Motacilla alba leucopsis</i>）も観察される。</p> <p>想像以上に、爽やかで綺麗な?鳴き声です。↓ https://youtu.be/2W6lowkk6u8</p>	 <p>ハクセキレイ <i>Motacilla alba lugens</i></p>	 <p>ハクセキレイ (by 武田先生)</p>

2 ルリカケス (1921年に種として国の天然記念物に指定されている。)	瑠璃鴉鳥 (ルリカケス) は、スズメ目カラス科カケス属に分類される鳥類。	<p>日本（奄美大島、加計呂麻島、鎮島）に分布する固有種。徳之島では1920年に発見例があるが以後は確実な発見例が無い。全長38cm、体重170-196g。翼長15-18cm。頭部から頸部にかけての羽毛が紫がかった濃青色（瑠璃色）で、和名の由来。頬や喉の羽毛は黒く、喉に白い斑点が入る。背と胸部から腹部にかけての羽毛は赤褐色。尾羽や翼は濃青色で、尾羽先端や翼切羽先端は白い。また尾羽に黒く細い横縞が入る。嘴は象牙色で、基部は青みを帯びる。幼鳥は羽毛が褐色がかり、尾羽や翼の白色部がない。主にスタジイやタブノキからなる常緑広葉樹林に生息するが、農耕地にも生息。非繁殖期には数羽から30羽の小規模な群れを形成し生活する。過去には羽毛目的や標本目的の乱獲、現在は開発による生息地の破壊、人為的に移入されたノネコやフィリマンダースによる捕食などにより生息数は減少。主な生息域である湯湾岳は国の天然記念物「神谷・湯湾岳（天然保護区域）」及び国指定湯湾岳鳥獣保護区に指定。しかし、2008年（平成20年）現在ルリカケスは上記の減少の要因に対する対策で、自然林の回復やマングースの減少に伴い個体数が増加、繁殖個体数は1000個体と推定。2006年改訂のレッドリストでは絶滅危惧種から外され、2008年には希少野生動物植物種の指定も解除。個体数回復による希少種の指定解除は、種の保存法が施行された1993年以来、初めての事例。</p> <p>鹿児島県レッドデータブック・絶滅危惧II種 https://www.youtube.com/watch?v=HzHD2h9BTJU</p>	 <p>ルリカケス <i>Garrulus lidthi</i></p>	<p>私は残念ながら、自然界の「ルリカケス」を見た記憶がありません。</p>
--	--------------------------------------	--	--	--

ルリカケス (1) 鳴き声 (奄美大島)	https://youtu.be/HzHD2h9BTJU?t=9
- Amami jay / Lidth's jay - Wild Bird	https://www.youtube.com/watch?v=HzHD2h9BTJU
- 野鳥 動画図鑑	

ルリカケス (1) 鳴き声 (奄美大島)	https://youtu.be/HzHD2h9BTJU?t=9
- Amami jay / Lidth's jay - Wild Bird	https://www.youtube.com/watch?v=HzHD2h9BTJU
- 野鳥 動画図鑑	





2021年11月5日 三木山森林公園

1	ボタイジュ	アオキ科	シナノキ属	落葉高木 別名コバノシナノキ 中国原産 シューベルトの菩提樹は近種の西洋シナノキ 花(黄緑色) 実(球形 念珠の材料に)
2	ムクノキ	アサ科	ムクノキ属	落葉高木 雌雄同株 根(板根に発達する) 葉(互生 鋸鋸歯) 核果(黒色 生食可) 植物の表面がケイ酸物質で覆われて鏡として利用される
3	ニコゲスカキビ	イネ科	キビ属	1年草 草丈30~70cm 北アメリカ原産の雑草「ニコゲ」は柔らかい毛の意味(葉に触れるときめの細かいピロロド状) 年2回開花
4	ジュズダマ	イネ科	ジュズダマ属	多年草 草丈1~2m 茎(叢生して大株に直立) 葉(互生 線形) 果実(ホーロー質で固い) 食用・薬用・装飾品に古代から利用
5	ススキ	イネ科	ススキ属	多年草 別名尾花 秋の七草 草丈1~2m 葉(ケイ酸を多く含むので堅い) 花(小穂が密生 芒あり) 株立ちで群生する
6	チカラシバ	イネ科	チカラシバ属	多年草 草丈50~80cm 群生する 葉(固い線形) 花穂(黒紫色のポトルブランのよう) 引く抜くのが容易でないからの名
7	ハルガヤ	イネ科	ハルガヤ属	多年草 ヨーロッパ原産 草丈30~60cm 茎(叢生 直立) 全草にクマリンを含み放香あり イネ科花粉症の原因
8	マコモ	イネ科	マコモ属	多年草 草丈1~3m 水辺に群生 可食できるマコモタケ 万葉集に22首 古くは葉の利用も重要(籾・コモ・枕・神事など) 漢方薬
9	タカノツメ	ウコギ科	タカノツメ属	落葉高木 雌雄異株 冬芽が鷹の爪を思わせることからの名 葉(3出複葉 長枝に互生 短枝に束生 山菜) 紅葉が美しい
10	タテバチドメグサ	ウコギ科	チドメグサ属	多年草 北米原産 水辺に生育 和名ウチワゼネグサ 茎(匍匐して広がる) 葉(互生 円形 光沢あり) 花(緑白色 小さな5弁花)
11	コシダ	ウラボシ科	コシダ属	常緑多年生シダ植物 草丈1~2m 大群落 葉(表光沢あり 裏面白) ウラボシと葉が繰り返して二又分枝する点で異なる
12	ヤマウルシ	ウルシ科	ウルシ属	落葉低木 雌雄異株 葉(奇数羽状複葉 先端部に纏まって互生 下の葉ほど小さくなる 両面に毛が見える) 紅葉が美しい 有毒植物
13	ヤマハゼ	ウルシ科	ウルシ属	落葉小高木 雌雄異株 葉(互生 奇数羽状複葉 両面に毛あり 全縁 平行に走る葉脈の横線が目立つ) 有毒植物
14	オミナエシ (写真②)	オミナエシ科	オミナエシ属	多年草 草丈60~100cm 花(花茎の先端に黄色の小花を平らな散房状に咲く) 葉(対生 羽状分裂で深く裂ける) 秋の七草 生薬
15	カタバミ	カタバミ科	カタバミ属	多年草 地方名180種以上 葉(3枚 雨・夜に閉じる シュウ酸を含む) 花(黄色5弁 雨・夜に閉じる) 萌虫(種を弾き飛ばす)
16	メリケントクソウ	キク科	イガトクソウ属	1年草 南アメリカ原産 草丈5cm 地面を這うように生え繁殖力強い 鋭い棘のある種子を春に結実する その棘で手足を怪我をする
17	ノコンギク	キク科	シオン属	多年生 草丈0.5~1m ヨメナに非常に似ているが葉や茎に毛がある 葉(互生 鋸歯ざらつく) 花(白色~濃い紫色) 長冠毛(4~6mm)
18	ヨメナ	キク科	シオン属	多年草 草丈0.5~1m 葉(互生 卵状楕円形 粗い鋸歯 つるつるする) 花(2.5~3.5cm 淡紫色) 短冠毛(0.5mm) 食用野菜
19	アメリカンセンダングサ	キク科	センダングサ属	1年草 草丈0.5~1.5m アメリカ原産 茎(四角形 暗紫色) 花(黄色筒状花が目立つ) 瘦果(扁平で鈎状の棘でくっつき虫)
20	ノシゲ	キク科	ノシゲ属	越年草 別名ハルノゲシ 草丈0.5~1m 茎(中空) 葉(柔らかい 基部茎を抱く) 花(黄色~白黄色 直径2cm 舌状花のみ)
21	サワヒヨドリ (写真④)	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 湿った草地に生育 草丈40~90cm 花(フジバカマに似る 紅紫色の管状) 葉(対生 柄がほとんど無い 3裂)
22	ヒヨドリバナ (写真⑤)	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 草丈1~2m 葉(対生 短柄 ゴザザラ 切れ込み無し) 花(白色の小さな筒状花が散房状に)
23	オトコヨモギ	キク科	ヨモギ属	多年草 草丈40~140cm 雄花だけ結実し両性花は結実しないことからの名 全草に毛無し 葉(変化が多い) 生薬(黄疸の特効薬)
24	キツネノマゴ	キツネノマゴ科	キツネノマゴ属	1年草 草丈10~40cm 雌雄 葉(茎の節ごとに対生) 花(夏に赤紫の小さな唇形花) 名前の白茶はいろいろな説あり
25	クロモジ	クスノキ科	クロモジ属	落葉低木 日本固有種 雌雄異株 葉・樹皮・木部とも強い発汗性の放香を持つ 枝を高級楊枝の材料 薬用・精油としても利用
26	ツルコウジ	サクラソウ科	ヤブコウジ属	常緑小低木 茎(つる性で地上を這う 褐色の長軟毛) 葉(互生 粗鋸歯 長軟毛) 花(花冠は白色5裂 下向きに付く) 果実(球形 赤色)
27	サルトリイバラ	サルトリイバラ科	シオデ属	落葉半低木 雌雄異株 葉(互生 革質 全縁 托葉の先が変化して1対の巻きひげで絡みつく) 果実(赤色) ルリタテハの幼虫の食草
28	イヌコウジュ	シソ科	イヌコウジュ属	1年草 草丈20~60cm ヒメジソより乾燥したところに生育 茎(4稜) 葉(対生 裏面に多数腺点あり 鋸歯が目立たない)
29	ヒメジソ	シソ科	イヌコウジュ属	1年草 草丈20~60cm やや湿った所に生育 茎(4稜 下向きの短毛あり) 葉(対生 裏面に多数腺点あり) 花(白色~淡紅紫色 唇形)
30	クサギ	シソ科	クサギ属	落葉小高木 先駆植物 葉に悪臭があることからの名 葉(柔らかく薄い 柔毛あり) 果実(紺色 赤い萼が目立つ 染料に利用)
31	シナノキ	シナノキ科	シナノキ属	落葉高木 日本特産種 葉(先の尖った左右非対称の心円形 鋭鋸歯あり) 花(淡黄色 花序の柄にへら型の包葉を付ける) アイヌとシナ布
32	スイレン	スイレン科	スイレン属	多年生の水草 花(水面に浮くようにまた立ち上がって咲く) 葉(浮水 葉 光沢あり 円形 切れ込みあり 水を弾かない)
33	イヌタヌキモ	タヌキモ科	タヌキモ属	沈水性多年草 全長1mを超える場合もあり 食虫植物(茎の小さな袋でプランクトン類を吸い込み捕食する) 花(7月~9月 黄色)
34	ナツハゼ	ツツジ科	スノキ属	落葉低木 中国原産 夏にハゼノキのような紅葉が見れることからの名 ブルーベリーの仲間 果実(抗酸化活性の高い機能食品)
35	ネジキ	ツツジ科	ネジキ属	落葉小高木 幹が捻じれることからの名 葉(互生 まばらに毛あり 毒性強い) 花(花序は横に伸びて白色の筒型の花を下向きに並べる)
36	カワラナデシコ (写真③)	ナデシコ科	ナデシコ属	多年草 草丈30~80cm 葉(対生 線形) 花(淡紅色 花弁5枚先の方は糸状に細裂) 果実(円柱状 先端が4裂して種子が出る)

37	ハゴロモモ	ハゴロモモ科	ハゴロモモ属	多年性の沈水植物 北アメリカ原産 別名フサジュンサイ 葉(対生 浮葉もある) 花(浮葉の葉腋から出た花柄の先に白い花を付ける)
38	アズキナン (写真①)	バラ科	アズキナン属	落葉高木 葉(互生 先端が短く尖る 重鋸歯 規則正しく並んだ葉脈) 果実(石細胞を持つナン状果 楕円形) 樹皮(染料に)
39	カナメモチ	バラ科	カナメモチ属	常緑小高木 葉(互生 新芽は赤色で成長すると緑に変わる 細かい鋸歯 革質) 園芸種のレッドロビンが生垣に利用される
40	ジュウガツザクラ	バラ科	サクラ属	落葉小高木 マメザクラとエドヒガンの種間雑種の園芸品種 春と秋の2度開花するのが特徴 花(八重咲 淡紅色 冬咲く花は小さ目)
41	ワレモコウ	バラ科	ワレモコウ属	多年草 葉(奇数羽状複葉) 花(暗紅紫色 小さな花が沢山集まって形作る 花弁無し 4枚の萼片が色づく) 生薬 古代から親しまれた
42	ヤマラッキョウ	ヒガンバナ科	ネギ属	多年草 草丈30~60cm 湿った所に生育 葉(線形 断面は鋭い三角形) 花(茎頂に球形の散形花序を出し 紅紫色の花を咲かす)
43	ネズ	ヒノキ科	ビャクシン属	針葉樹 雌雄異株 乾燥に強いが成長は遅い 葉(1.2~2.5cm 先端尖る 1本の気孔帯 3輪生) 球果(漢方の生薬) 香料としてジンの原料に
44	チョウセンゴミシ	マツバサ科	マツバサ属	落葉木質性の性植物 雌雄異株 葉(互生) 果実(5~7mmの深紅色の丸い実がブドウのようになる 生薬 生食 お茶お酒に利用) ユンケルに使用
45	オオバナネムチャ	マメ科	カワラケツメイ属?	腐化植物 カワラケツメイとそっくり 昨年三木山森林公園で発見された 最近認定されて名前が決まった
46	カワラケツメイ	マメ科	カワラケツメイ属	基本1年草 草丈0.3~0.6m 葉(互生 偶数羽状複葉) 花(黄色 他のマメ科のように蝶形花にならない) お茶は弘法大師が広めた
47	シナガワハギ	マメ科	シナガワハギ属	越年草 草丈50~90cm アジア大陸原産 江戸時代に品川で発見された 葉(3小葉からなる複葉 クマリンが含まれる) 花(淡黄色 蝶形)
48	タヌキマメ	マメ科	タヌキマメ属	1年草 草丈30~100cm 全体に長い毛あり 葉(互生 1小葉からなる掌状複葉) 花(青紫色の蝶形) 萼(褐色の長軟毛 果実期膨大)
49	ネムノキ	マメ科	ネムノキ属	落葉高木 夜になると就眠運動を行う 葉(2回羽状複葉) 花(淡紅色 夕方に開き翌日しぼむ 雄蕊が花を構成) 豆果 根粒菌と共生
50	マルバハギ	マメ科	ハギ属	落葉低木 花(直径1cm 蝶形 花序が葉より短い) 葉(3出複葉 表面は無毛 裏面に伏毛密生 先が凹形)
51	ヤマハギ	マメ科	ハギ属	落葉半低木 花(直径1cm 蝶形 花序が葉より長い) 秋の七草 万葉集に141首 クローバーのような葉を持つため英語でBush Clover
52	ハナミズキ	ミズキ科	ミズキ属	落葉高木 アメリカ原産 明治時代ワシントンにソメイヨシノを送った返礼としてやってきた 実(つやつやとした赤色 食用不可)
53	ヤマボウシ	ミズキ科	ヤマボウシ属	落葉高木 日本原産 葉(対生 全縁で波打つ) 花(ハナミズキに似る 花びらのような4枚の総苞片のさが尖る) 実(赤色 生食可)
54	トウネズミモチ	モクセイ科	イボタノキ属	常緑高木 中国原産 葉(対生 楕円形 光沢あり 日に透かすと葉脈が透けて見える) 果実(楕円形だが球形に近い 漢方薬)
55	ミヤマガマズミ	レンブクソウ科	ガマズミ属	落葉低木 ガマズミより標高が高い所に多く、花や葉をはじめ全体的に小さい またガマズミより葉や葉脈の毛が少ない

蝶

1	キタキチョウ	シロチョウ科	キチョウ属	モンキチョウよりはひと回り小さい 地面から給水 成虫のまま越冬 幼虫はネムノキ・ハギなどのマメ科植物の葉を食べる
2	ツマグロキチョウ	シロチョウ科	キチョウ属	モンキチョウよりはひと回り小さい 成虫のまま越冬 食草(カワラケツメイのみ) 河川数などの湿った所に生息 絶滅危惧種 I B類

鳥類

1	セグロセキレイ	セキレイ科	セキレイ属	留鳥 全長21cm 日本特産種 水辺の環境に強く依存 尾羽を上下に振る姿が特徴的 分布域はハクセキレイに押されて縮小している
2	ハクセキレイ (写真⑥)	セキレイ科	セキレイ属	留鳥 全長21cm 海岸・湿地・草原・市街地などの開けた場所に生息 セグロセキレイに似るが眼下部が白い 尾羽を上下に振る姿が特徴的

秋の七草 ハギ・ススキ・クズ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・キキョウ

ボタイジュ 釈迦が悟りを開いたのはインドボタイジュ インドボタイジュに間違われたのはボタイジュ

釈迦が亡くなったのは沙羅双樹の下 沙羅双樹に間違われたのは夏椿

仏教の3大聖樹 ①釈迦誕生 ムコウジュ ②釈迦悟り インドボタイジュ ③釈迦入滅 サラソウジュ

キチョウ ミナミキチョウ(南西諸島に分布)とキタキチョウ(本州~南西諸島に分布)の2種に分けられた

2021年11月5日 三木山森林公園



①アズキナシ



②オミナエシ



③カワラナデシコ



④サワヒヨドリ



⑤ヒヨドリバナ



⑥ハクセキレイ

武田先生と里山を歩こう会

植物観察会 報告書

平崎 共子

摂津峡公園

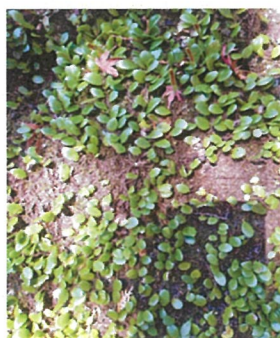
芥川から原盆地から塚脇へ流れ、途中三好山と中堂山間に形成され摂津崎の右岸に広がる37.2haの風致公園

大阪府古文化記念物等保存顕彰規則により指定

昭和13年5月には大阪府の名勝に指定

活動日	2021年12月3日	活動時間	約5時間
活動場所	摂津峡公園	歩行数	8000歩
参加者	15名	天候	晴天

感想 初めて摂津峡に行った。素晴らしい恵まれた天候。
12月なのに秋晴れ。紅葉もあちこち美しい。
大自然を満喫できた。



観察された植物

キンミズヒキ ホトケノザ ツルグミ テイカカズラ
マメツダ ニシノホンモンジスゲ コウテイダリア
フジバカマ オオバイノモトソウ カラカシ
アカネ ミツデウラボシ オニドコロ
フユイチゴ スズメウリ ムラサキシキブ
オニドコロ フモトシダ オニヤブソテツ

1	アカネ	アカネ科	アカネ属	つる性多年草 茎(四角 下向きの棘) 葉(基部は心形 先端が細くなる 4枚輪生のうち2枚は托葉) 根(赤色の染料に) 薬用
2	チカラシバ	イネ科	チカラシバ属	多年草 草丈50~80cm 黒くて大きなブラシのような穂が特徴 群生する 根(木質化して頑丈) 葉(堅い 線形) 引っ付き虫
3	ヤダケ	イネ科	ヤダケ属	常緑多年性ササ類 穂の節がふくらまず節間が長いのが特徴 葉(厚くて大きく垂れ下がる 穂の上部のみに付く) 穂(直立 2~5m)
4	オオバイノモトソウ	イノモトソウ科	イノモトソウ属	常緑性シダ植物 葉(1回羽状複葉 胞子葉の方が栄養葉より長い 紙質 黄緑色) ソーラス(羽片の縁に沿って長く発達) 鹿が食べない
5	ノキシキブ	ウラボシ科	ノキシキブ属	常緑性シダ植物 着生植物(付くものの養分を必要としない) 葉(長さ12~30cm 線形) ソーラス(径3mm以下の円形 裏側上半分に2列)
6	マメツタ	ウラボシ科	マメツタ属	常緑シダ植物 着生植物 茎(長く匍匐) 葉(単葉 栄養葉は長さ1~2cmで肉厚で丸い 胞子葉は長さ4~6cmのへら形胞子が一面につく)
7	ミツデウラボシ (写真⑧)	ウラボシ科	ミツデウラボシ属	常緑性シダ植物 葉(単葉 成長すると基部で大きく3裂 薄くて硬い) 葉柄(長い) ソーラス(主脈に沿って左右1列に 円形)
8	スズメウリ (写真③)	ウリ科	スズメウリ属	つる性1年草 原野や水辺に生える 雌雄同株 葉(3角状卵型 浅く3裂) 花(直径6mm 深く5裂 白色) 実(1~2cm 灰白色 小さな実)
9	オオイタデシダ	オンダ科	オンダ属	常緑性シダ植物 葉(2回羽状複葉 黄緑色~暗緑色 先端急に細くなり 鈍型にならない 硬い紙質 光沢あり) ソーラス(葉身全体)
10	ベニシダ	オンダ科	オンダ属	常緑性シダ植物 若葉・若いソーラスは赤いのでこの名がある 根茎(太くて短い 束生) 葉(2回羽状複葉)
11	ハカタシダ(写真⑨)	オンダ科	カナワラビ属	常緑性シダ植物 草丈50~100cm 葉(2回羽状複葉 濃緑色 光沢あり 硬い紙質 頂羽片は長く明瞭 斑入りと斑入り無しがある)
12	オニヤブソテツ (写真⑩)	オンダ科	ヤブソテツ属	常緑シダ植物 草丈40~60cm 根茎(一塊状 薬用) 葉(1回羽状複葉 濃緑色 葉が大きく光沢あり) ソーラス(円形 裏面全体に散らばる)
13	ヤブソテツ (写真⑪)	オンダ科	ヤブソテツ属	常緑シダ植物 草丈70~100cm 茎(太くて短い) 葉(1回羽状複葉を束生 緑色 葉が小さく光沢無し) ソーラス(円形 裏面全体に散らばる)
14	カササゲ	カヤツリグサ科	スゲ属	多年草 池畔・湿地に生育草丈1m 管笠・蓑などに利用されことからの 名地下茎(長く這って群生) 葉(幅4~8mm) 花期5~6月 薬用
15	ニシノホンモンジスゲ	カヤツリグサ科	スゲ属	多年草 日本固有種 草丈20~60cm 西日本に多いことからの名 根茎(匍匐 枝を出さず叢生し大株に) 葉(線形 幅2~3mm) 花期4~6月
16	ナキリスゲ	カヤツリグサ科	ナキリスゲ属	常緑多年草 葉がざらつき葉も切れる?ことからの名 根茎(匍匐 枝を出さず叢生し大株に) 葉(堅く濃緑色 線形 幅2~4mm) 花期9~10月
17	セイタカアワダチソウ	キク科	アキノキリンソウ属	多年草 北アメリカ原産 草丈1~2.5m 根や地下茎からアレロバシー物質を分泌 花(黄色の大きな傘型) 葉(ざらつく) ロゼットで越冬
18	キバイナコスモス	キク科	コスモス属	1年草 園芸種 原産地メキシコ 草丈30~100cm 葉(対生 2回羽状複葉 コスモスより太くギザギザ) 花(黄色・オレンジ 開花期6~11月)
19	ノコンギク	キク科	シオン属	多年草 草丈0.5~1m ヨメナに非常に似ている 茎・葉(短毛あり) 花(舌状花は紫を帯びた白~薄紫色 筒状花は黄色で冠毛あり)
20	ヨメナ	キク科	シオン属	多年草 草丈0.5~1.2m 葉(互生 粗い鋸歯 3脈が目立つ) 花(舌状花は紫を帯びた白~薄紫色 筒状花は黄色で冠毛無し) 食用・薬用
21	ヒヨドリバナ	キク科	ヒヨドリバナ属	多年草 草丈1~2m 葉(対生 短い葉柄 フジバカマのように裂けない ざらつく) 花(白色~薄紫色 筒状花が集まって散房状に)
22	キブシ	キブシ科	キブシ属	落葉低木 雌雄異株 別名キフジ 湿り気と日陰を好む 早春他の花木に先立って咲く黄色いブドウのような花 実(タンニン採取)
23	テイカカズラ	キョウチクトウ科	テイカカズラ属	つる性常緑低木 茎から気根を出し樹幹や岸壁をよじ登る 葉(対生 革質) 花(白から淡黄色に スクリュー型 甘い香り)
24	ツルグミ	グミ科	グミ属	つる性常緑低木 雌雄同株 高さ2~3m 枝(下向きに出る) 葉(互生 革質 裏赤褐色の鱗片が密生) 実(5月頃赤く熟す) 薬用
25	フモトシダ	コバノイシカグマ科	フモトシダ属	常緑性シダ植物 根茎(長く這う) 葉(1回羽状複葉 黄緑色~暗緑色 裏全体に毛が多い) ソーラス(葉の縁 ポケット状の毛のある包膜)
26	ヒメオドリコソウ	シソ科	オドリコソウ属	越年草 ヨーロッパ原産 草丈10~25cm 茎(四角断面 直立) 葉(対生 葉柄あり 茎の先端になるほど紫色がかかる) 花(明るい赤紫色 唇形)
27	ホトケノザ	シソ科	オドリコソウ属	1年草・越年草 草丈10~30cm 別名サンガイグサ 春の七草のホトケノザとは別 茎(四角断面 直立) 葉(対生) 花(ピンク~紫色)
28	ヤブムラサキ (写真⑫)	シソ科	ムラシキシキブ属	落葉低木 葉(対生 ピロードのような手触り) 枝・葉・花・柄・萼に星状毛 金の含有量が多いので金鉱脈の指標植物
29	ハナタデ	タデ科	イヌタデ属	1年草 草丈30~60cm 別名ヤブタデ 葉(先が急に細くなり尾状に尖る ときに中央に黒斑あり) 花(紅色~白色 まばらに付く)
30	フユイチゴ (写真⑬)	バラ科	キイチゴ属	常緑匍匐性小低木 葉(先端丸い 裏面毛密生) 花(白色 上向きに 花弁と萼片が同長) 茎(毛密生 小さな棘あり) 果実(赤色 生食可)
31	ミヤマフユイチゴ	バラ科	キイチゴ属	つる性常緑小低木 茎・枝(下向きの棘) 葉(互生 先端尖る) 花(白色 花弁が萼片より短い) 果実(11月~1月 赤色 生食可)
32	キンミズヒキ	バラ科	キンミズヒキ属	多年草 草丈30~150cm 葉(互生 奇数羽状複葉) 花(黄色の5弁花を穂状に密に付ける) 果実(俵型 引っ付き虫) 生薬・食用
33	リンボク	バラ科	サクラ属	常緑高木 別名ヒイラギカシ 葉(互生 深緑色 縁が波打つ 光沢あり 若葉の鋭鋸歯がヒイラギと似る) 花(9~10月に穂状の白5弁花)
34	ヒガンバナ	ヒガンバナ科	ヒガンバナ属	多年草 別名曼珠沙華 中国原産 お彼岸頃に赤い花だけ咲かせ秋の終わりに葉が伸びて翌年の初夏に枯れる 有毒植物 三倍体植物
35	カニクサ	フサダ科	カニクサ属	夏緑シダ植物 つる性 長さ2~3m 樹木や岩に絡みつく 地下にある根茎から1枚の葉を出している 胞子葉(裂片が細かい)
36	ノブドウ	ブドウ科	ノブドウ属	つる性落葉低木 花(小さな薄緑色) 葉(互生 ほぼ円形 3~5裂) 実(ブドウタマバエ・ブドウトガリバチの幼虫が寄生して紫色などになる)

37	アヘマキ	ブナ科	コナラ属	落葉高木 雌雄同株 別名コルククスギ 葉(互生 鋸歯の先端は2~3mmの針に 裏面星状毛が密集) クヌギは葉裏星状毛無し
38	シイ	ブナ科	シイ属	総称 常緑高木 雌雄同株 日本にはツブラジイ(関東以西)・スダジイ(福島県佐渡島以南) 葉(厚くて全縁 裏面は毛が密生して金色)
39	オニドコロ	ヤマノイモ科	ヤマノイモ属	つる性多年草 雌雄異株 葉(互生 三角状心形 先が尖る) さく果(上向き3個の翼) むかごは付かない 根茎(有毒 横に伸びる)

テイカカズラ 能楽「定家」が由来 式子内親王を愛した藤原定家が死後も忘れられず、定家墓に生まれ変わって墓に絡みついたという伝説からの和名

春の七草のホトケノザ オニタビラコ (キク科 オニタビラコ属)

キンミズヒキ 黄色い小さな花を付ける穂をのし袋に付ける金色の水引に見立てたことからの名

ミズヒキとギンミズヒキ タデ科タデ属

アサギマダラ 好きな植物 ヨツバヒヨドリ・ヒヨドリバナ・ヤマヒヨドリバナ・フジバカマ等のキク科ヒヨドリバナ属・モンパノキの葉(奄美以南)

これらの植物は、ピロリジジナルカイドという物質が多く含まれてる(特に雄にとって性フェロモン分泌に必要な物質)

幼虫は有毒のガガイモ科植物(キジョラン・イケマなど)を食べる(鳥などの天敵に捕食されにくいと考えられる) 卵から成虫に1ヶ月

春に北上して秋に南下しながら1000km~2000kmの渡りをするが、アサギマダラの寿命は4~5か月で実態はまだよくわからない

シイの和歌 ◆家があれば 筥に盛る飯を 草枕 旅にしあれば 椎の葉に盛る

家があれば器に盛るべき飯を、たびの中にあるので、椎の葉に盛ることよ (有馬皇子 万葉集 巻2 142)

◆片岡の この向つ峰に 椎蒔かば 今年の夏の 陰にならかむ

片岡のこの向こうの峰に椎を蒔いたならば、今年の夏は木陰になるだろうか (作者不詳 万葉集 巻7 1099)



①



② フユイチゴ



③ スズメウリ



④



⑤



⑥ 白滝



⑦



⑧ 立派なミツデウラボシ



⑨ ハカタシダ



⑩ オニヤブソテツ



⑪ ヤブソテツ



⑫ ヤブムラサキ

